

# 東由利町報

# 10月

昭和58年

No. 343 昭和58年10月1日発行 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画財政課 毎月1日発行

空から  
こゝには



## 念願の「法内線」完成・「水道敷設」

町の北部に位置する法内地区。地域発展の要とも言うべき県道神岡坂部横渡線、通称「法内線」の改良工事が、先ごろ完成。幅が狭く、穴ぼこだらけと悪評をかってきた道路は、十六年の歳月を経てりっぱな二車線の舗装道路に生まれ変わりました。

また、同線小倉地内から分岐する高村線も、現在、広域付帯農道整備事業として全幅七メートルの改良工事が進められています。

同地区では、団体営ほ場整備事業や山村振興事業、土地改良総合整備事業、地域農政特別対策事業などによって、稲作の生産基盤と近代化施設が整備され、地区の様相は一変しました。

昭和五十年には、町内で初の地域拠点施設とも言うべき克雪管理センターが竣工。「法内線」の呼称で、産業、文化、生活の向上に活用されています。

昨年からは、野田から小倉にかけて念願の水道敷設工事が三カ年計画で進められており、地域住民は、一日も早い給水開始を待っています。

# 58年度補正予算案を否決

## 一般会計 57年度各会計決算を認定

### 就任初議会、畠山町長が所信表明

#### 九月定例議会

第九回町議会定例会は、九月八日に招集され、就任後初めての議会で畠山町長は、初日に所信表明と行政報告を行い、町政執行にあたっての基本姿勢を明らかにし、議会と町民の理解と協力を求めました。

本会議二日目の十二日には、会議に先立ち、畠山町長が特に発言を求め、議会会期中に発生した水道拡張事業に絡む職員の不祥事件に関し、事件の概要を報告するとともに「就任以来ことあるごとに職員に対し公務員の職責の自覚と再確認を訴えてきただけに残念である。しかし、事実は事実として冷静に受け止め、再びこうした不祥事が起きないように綱紀粛正に努める」と述べました。

決算議会とも呼ばれる今議会には、昭和五十七年度各会計決算のほか、財産の取得、教育委員の任命など十四案件を上げ、このうち五十八年度町一般会計補正予算は否決、他はいずれも原案どおり可決、認定されました。

最終日の二十二日には、川尻工業導入調査特別委員長と、小松(豊)温泉開発調査特別委員長から審査報告がなされ、それぞれ委員長報告どおり承認し、閉会しました。

町長の所信表明と行政報告、一般質問、可決案件などの概要を十二面にわたってお知らせします。

### 「町民との対話」を重視

#### 東由利の繁栄に全力傾注

#### 所信表明

私は、このたび町民の代表として選ばれ、町政を担当することになりました。東由利町の繁栄と発展を願ひ、町民の幸福のために全力を尽くしてその負託に答えるための努力を惜しまない覚悟です。あらためてここに、町民の皆さんに対してその決意を表明するとともに、本議会を通じ、

町政をあくまで責任者としての私の基本姿勢、基本理念を明らかにして、その所信を述べたいと思います。先ず私は、民主政治の根本理念であり、住民自治の基本でもある「主権在民」の政治理念を貫いてまいりたいと考えています。町政の主人公は町民であり、その町民の代表



就任初議会でも所信表明を述べる畠山町長

としての首長の座であること  
を忘れない町政を堅持してい

きたいと思ひます。常に町民との対話を重視し、町民が町政に何を望み、何を期待しているかを念頭におきながら、これに対する十分な協議検討を加えつつ、より良い方向で町政を進め、町民の期待に答えるための努力を惜しまない考えです。

また、住民の代表者であります町議会議員の皆さんの意見を十分に尊重しながら、町政執行にあたることは当然のことです。

町政執行にあたっては、私のモットーであります「誠実・清潔・実行」を旨として、職責を全うしてまいりたい考えです。

以上、町政を担当していくうえで基本姿勢を申し上げましたが、首長が代わりましても町政の停滞はいささかも許されません。私は八月二十日に就任した際、職員を前にしてこの考え方を明らかにし、私とともに町政を進めるう

では是非実行してもらいたい基本的な事柄について明確に示し、その協力を求め、指示しました。このことは既に町報に掲載され、町民の皆さんもご承知と思いますが、その主旨とするところは次の五点です。

一つは「公務員としての職責の自覚と再確認」を促し、公務員として常に襟を正すことを強く求めたものです。

二つには、職務執行にあたっては「奉仕観念と公僕精神に徹する」ことを訴え、町民サービスを旨とした勤務のたいせつさを説いたものです。

三つには、自らの職分において十二分の能力を発揮されるよう指示しました。これは、行政組織機構が機能するとともに、職員的能力開発と職務

### 厳しき増す

#### 地方行財政

ここで、現在における我が東由利町の行財政についての現状認識について申し上げます。我が東由利町は、出羽丘陵地帯の中に位置する純農村であるとともに、いわゆる山村です。今後の農山村における大きな問題として、対外的には農産物の輸入問題からくる我が国農政に及ぼす諸問題、また、対内的には経済低成長下における財政のひっ迫、予

の効率的な運用を重視したからです。

四つには「創意工夫を凝らした仕事」を訴えました。職員個々が知恵を働かした仕事が必要される時代であるから、与えられる時代ではなく、自らが考え、自らが創り出していかねばならない

地方の時代とも言われる地方自治の転換期を迎え、そしてまた、地方財政の危機の時代を乗り切るために、特に必要な勤務姿勢であるからです。

五つ目として「明るい職場づくり」を訴えました。明るい町づくりの基本は、先ず役場職員の職場が明るくなければならぬからです。

以上の事柄を職員と共に誠実に実行しながら、円滑な行政運営に努力する考えです。

算のマイナスシーリングなどの問題があります。今や、我が町をはじめ山村においては、このような国際経済の影響からくる政治の波をもろにかぶり、直ちに打撃を受けるとともに、他方、産業基盤や生活環境の整備をすすめるための公共投資の増加も困難になりつつあるのが現状です。

こうした社会環境下において、山村の進むべき方向は今後どうあるべきか、目下、行政の命題です。

また、行政改革の問題とも絡み、重大な転換期を迎え、



地域農業の振興発展のため大きな期待がかけられている出羽丘陵開発  
(大吹川・更田地区の草地造成力所)

していると言わざるを得ません。我が東由利町も、このよ  
うな観点に立った振興策を真  
剣に考えるべき時期に到来し  
ているという認識をもたなけ  
ればならないものと考えます。  
我が東由利町の財政は、非  
常に厳しい状況にあります。  
むしろ、財政の危機の時代を  
迎えたと言つて良いと思われ  
る現状です。

六〇という状態で、国の地方  
財政対策に依存するところが  
極めて大きい財政事情です。  
こうした中、地方債の増発  
等による対応が、毎年度「常  
態化」しており、近い将来、  
財政運営上好ましくない結果  
を招きかねない情勢にありま  
す。

本町の公債費比率は、現在  
一四・四％となり、このまま  
明年度以降公債を使わなくて  
も、五十九年度は一六・九％  
六十年年度には一七％になるも  
のと推計され、まさに不健全  
の財政に移行することは間違  
ない現状です。

次に、行政運営について申  
し上げます。  
我が町は、前任者をはじめ  
として議員各位、そして諸先  
輩の英知と努力によりまして  
着実な実績が積みあげられ、  
数多くの重要施策がとられて  
きました。そして今、それが  
引き継がれました。私は、こ  
れらの実績を高く評価すると  
ともに、そのご労苦に対して

### 実績を正しく継承

で、町政のご理解を得たいと  
思うしだいで。



自然と調和し、豊かで明るく、住み  
良い町づくりをさらに

## 統合小建築など順調に進捗

主な施策について、行政報  
告を申し上げます。

議員各位のご理解をいただき  
たいと思います。

蔵老方小学校建築工事は、  
現在のところ予定どおり進め  
られています。今後の問題と  
して、校舎の外構整備や通学  
路の整備等、教育環境の整備  
充実に力を入れていきたいと  
考えます。

出羽丘陵開発事業について  
は、既に報道されていますよ  
うに東部地区の着工式が八月  
二十五日、大森町で行われ、  
本格的に工事が進められる運  
びとなりました。

東由利水道拡張工事の進捗  
率は、各工区ごとにアンバラ  
ンスがありますが、平均する  
と七〇％になっており、全体  
的には順調に進捗しています。  
工事が完成するにあたり、今  
後▽基本料金▽加入奨励金▽  
引き込み管の町負担分―等、  
解決しなければならぬ多く  
の問題を抱えていますので、

ご承知のとおり、今年度本  
町では、草地造成事業として  
「更田地区」「板戸地区」「大森  
地区」合わせて三〇・八％、  
道路整備事業として「大森線」  
「荒山支線」合わせて四千五  
百坪が着工することとなり、  
更田地区の草地造成は、まも  
なく工事が始まります。

本事業は、地域農業の振興  
発展と農業所得の安定増大を  
目指す大きな目的を持つもの  
であり、参加農家の失敗は許  
されないと考えます。これま  
で約束されていることはもち  
ろんのこと、事業目的達成の  
ために積極的に対応しなけれ  
ばならないと考えています。  
建設事業関係について申し  
上げます。

町内各地域で進めている道  
路改良事業のうち▽団体営農  
道整備事業大台地区及び石高  
地区▽土地改良総合整備事業  
宮上地区「石滝線」▽農村総  
合整備モデル事業「地下の沢  
線」、それに農村基盤総合整  
備事業大琴地区は、いずれも  
追加補正し、継続実施したい  
と思えます。

また、法内地区の直道線と  
鞍骨線の工事の見直しもつき  
ましたので、中の沢線の改良

深く敬意を表するものです。  
私は、この実績のうえに立  
つて、これを正しく継承した  
い考えであり、その責任の重  
さを痛感しているところで  
す。

以上、現在進行中の主な施  
策についてご報告申し上げま  
した。私は、就任以来これ  
らの事業全てについて、職員  
とともに現場に赴き、説明を  
受けるとともに現状を確認し  
てきました。私は、事業完成  
のために今後も積極的に取り  
組んでまいりたいと考えて  
います。

今議会に提案してあります議  
案は、昭和五十七年度各会計  
決算認定について七件、五十  
八年度会計補正予算について  
二件、単項議案三件、人事案  
二件です。よろしくご審議  
の程をお願い申し上げます。

以上、就任初の町議会にあ  
たり、私の所信の一端と行政  
報告を申し上げ、終わりと  
します。

### 可決案件(概要)

【教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて】

十月十九日で任期満了となる教育委員に、佐藤松之助氏(七十五歳、館合字滝ノ沢五(五番地)を再任した。

【玉米財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて】

十月十九日で任期満了となる玉米財産区管理委員に、次の七氏を再任した。

- 佐藤与吉郎氏(七十八歳、館合字館前四五ノ一)
- 小松与惣雄氏(七十一歳、館合字松沢六八)
- 渡辺与七氏(七十一歳、田代字畑中三六)
- 八嶋与四三氏(六十七歳、館合字家の下三七ノ三)



9月定例議会初日、約70人の町民が傍聴に(9月8日)

○佐藤文一郎氏(六十八歳、田代字福島野三六)

○横山廣一氏(五十七歳、黒淵字下田面六九ノ一)

○佐藤公一氏(六十一歳、黒淵字山ノ下谷地六〇)

【財産の取得について】

大平スキー場に備える圧雪車一台を、次により購入することとした。

▽取得価格 二、〇七〇万円

▽購入先 日本ケープル株式会社新潟営業所(新潟市東大通一―二―二三)

▽契約の方法 随意契約

【昭和五十八年発生農地農業用施設災害復旧事業の施行について】

五十八年七月二十六日の豪雨で被害を受けた小倉地内の水路十六・四畝を、次により復旧することとした。

▽受益面積及び受益戸数

田 二・一七畝、八戸

▽主要工事計画  
練積ブロック及び土羽により復旧

▽工事予定期間

五十八年九月二十日～五十九年三月三十一日

▽事業費 一九〇万九千円

【昭和五十八年度町営土地改良事業の経費の賦課徴収等を定めることについて】

▽農村基盤総合整備事業「宿暗渠排水」▽災害復旧事業「小倉地区水路」――の経費の賦課基準などについて、次のとおり定めた。

○分担金の賦課基準 関係受益者の受益地の地積割。

○徴収の方法 金銭をもって普通徴収。

○徴収の時期 町長が定めた時期。

【昭和五十八年度町簡易水道事業特別会計補正予算(第二号)一

歳入歳出予算の総額に、それぞれ十九万二千円を追加し、歳入歳出それぞれ四億四千八百三十三万六千円とした。

歳出補正は▽日本水道協会秋田県支部負担金三十万円▽償還金利子減額五十四万九千円――などが主なもの。

### 否決案件(概要)

【昭和五十八年度町一般会計補正予算(第五号)一

歳入歳出予算の総額に、それぞれ二千二百八十九万五千円を追加し、歳入歳出それぞれ二十三億三千六十一万円にしようとしたものであるが、補正予算案に計上された役場庁舎内部工事費二百八十六万六千円のうちの町民ホール新設(玄関改装費含めて百六十二万三千円)について賛否両論があり、採決の結果、否決されたものである。

### 陳情等

〔付託事件に係る審査報告〕

○産業建設常任委員長報告

・老方集落に流雪溝を早急に設置していただきたい……継続審査したい――継続審査と決定。

〔その他・採択したもの〕

・昭和五十八年産米の政府買入価格等に関する陳情書(東由利農協青年部長遠藤芳裕ほか)

### 工業導入調査特別委員会



審査報告をする委員長 審査委員 審査委員 審査委員

去る昭和五十六年十二月定例議会で工業導入調査特別委員会が設置され、同月二十一日に第一回委員会を開いた。その後数回にわたって委員会を開き、その論議の中から▽工場用地の取得▽工場誘致条例の制定▽用地宣伝の看板及び町宣伝資料の作成――など、町当局と連携を保ちながら調査活動をしてきた。

また、県工業立地課より高橋参事の来町を願い、県全体の工業導入の現況を聞き、当委員会からも同課に出向いて相談、具体的にお願ひした。

さらに、電力事情の現況を知るため、東北電力本荘営業所との懇談会を開くとともに、五十七年五月には東京・羽田プレス株式会社社長の来町を願って誘致企業への対応を聞くと同時に、そのあつせんをお願ひした。

現在までの過程で、小規模ではあるが男子型企業一件、将来大型化が見込まれる女子型縫製産業一件について、具体性を持った話が出たが、最終段階でいずれも不調に終わり、現在に至っている。

以上、調査の経緯と結果を申し上げ、報告を終わる。

### 温泉開発調査特別委員会



審査報告をする委員長 審査委員 審査委員 審査委員

昨年十二月に設置されて以来、会を重ねて温泉開発に関する調査を実施してきた。今年五月には、弘前大学の岩井教授に来町願ひ、現地踏査等をしていただいた。

その結果、両前寺から老方、島集落の山の下にかけて湯脈があるという見通しで、業者からは「湯が出る、出ないは別として、五百万円程度で一、〇〇〇坪のボーリングをしてもよい」といった話があった。今後のことについては、特別養護老人ホーム等の施設の問題もあり、議会並びに町当局で検討されることを願ひ申し上げ、報告とする。

# 一般質問

(要旨)

## 男子型企業誘致の時期、見通しは

梅津 栄一議員

〔質問〕 町長は選挙運動期間中、出稼ぎ解消対策として男子型工場の導入実現を公約に掲げていたが、その事業規模、導入時期の見通しについてどう考えているか。

〔答〕 町民生活の安定、地場産業の育成、発展のうえからも企業誘致は大事なことと認識している。町議会にも工業導入調査特別委員会が設置されていることであり、各位の調査結果等をふまえ、関係機関の指導、助言を得ながら早期に実現できるように積極的に取り組んでいきたいと考えている。また、気象等本町の置かれている条件からしてもかなり厳しいものがあり、全町あげて取り組んでいかなければならない問題であると思っている。いっそうのご協力をお願いするものである。

〔質問〕 思い切った役場の窓口改善を言っているが、役場の窓口とは何を指しているのか。どういふ点が不備で、どう改善するのか。

〔答〕 建物の構造上のもののほか、町民に対する接遇全般を含めた窓口の改善を指しているものであり、接遇につ

いては、職員を前にした就任あいさつ、また、所信表明で述べたとおりである。

構造上では、入口が二カ所あって、入るに困惑するといふ声もあり、できれば正面一カ所としたい。また、事務室床と窓口床の高さに差があり、威圧感を感じるという声もある。

## 特養老人ホームの建築見通しは

伊東庄一郎議員

〔質問〕 新聞報道によると五十九年度関係予算は、各事業とも落ち込みは確実といわれている。特に農林予算は5%ものマイナスシーリング設定とあったが、自主財源の少ない本町の五十九年度予算見通しは。

〔答〕 町財政については、所信表明で述べたとおり、国・県財政とも関連し、非常に厳しい状況にあると認識している。しかし、継続中の重要施策については、国・県に強く要望し、完成していきたいと考えている。

マイナスシーリングに伴う予算編成にあたっては、経費の節減等の諸問題と併わせ、十分に検討し、合理的な財源配分、予算編成に努めていきたい。

り、事務室と同じ高さにしたと考えている。さらに、相談に訪れた人が、職員と気軽に面談できるように談話室的なものを設けたいと考えている。

〔質問〕 先に、由利土木事務所から国道一〇七号線大琴と奥ヶ沢間の改良路線が示されたが、現在の進捗状況は。また、奥ヶ沢工区の路線決定の時期見通しは。

〔質問〕 第三期山村振興特別対策事業については、八月九日の臨時議会後の協議会で新町長の意向も尊重すべきとしていたが、その後の経緯、結果は。

〔答〕 八月九日の議会協議会で示した事業項目について着任早々、職員から報告を受け検討。その結果をもって県に計画書を提出し、現在協議中である。

〔質問〕 農業総合指導センターを早急に機能させると言っているが、具体策は。

〔答〕 指導センターの体制が必ずしもよく機能していないのが現状のようであり、機能しない原因がどこにあるのか、今後、検討していきたい。

〔質問〕 中学校給食を五十九年度から実現させてほしいが、その見通しは。

〔答〕 早期実現を望むところだが、現在、統合校の建築中であり、財政上からいってもこの完成が先決と考える。

〔答〕 同線整備については、昭和五十九年度の国・県への要望事項の第一に掲げ、促進を働きかけている。

県では、五十九年度に新工区を決定し、本荘市山内側から調査・測量を行い、できれば一部着工したいということと国と協議中とのことであり、今年度から調査・測量するということは聞いていない。

したがって、中学校給食は六十年以降になるかと思う。

しかし、学校給食の意義、県下未実施町二町のうちの一町という状況からして、早期実現に向け最善の努力をしたい。

〔質問〕 特別養護老人ホーム建築についての進捗状況、成人病対策、体位向上のための具体策は

長沼 久男議員

〔質問〕 町長は立候補にあたり「由利組合総合病院の資料によると本町の成人病対策は最低であり、特に、脳卒中の死亡率は郡内一であり、全県平均よりも非常に高く、人命尊重の行政が遅れている」とは非常に残念である」と言っているが、町では△へき地診療所の設置▽皆検診▽各種予防事業▽保健活動▽へき地集落への交通条件の改善―

見通しは。

〔答〕 高齢化社会への対応、福祉向上、雇用確保等からしても大事な問題であり、着任早々から建築に向けて積極的に取り組んでいる。

建築にあたっての財源、建築後の経営見直し、受け入れ態勢等を考慮し、建築は六十年ごろが良いのではと考え、県と折衝している。県からは実現できそうな感触を得ており、六十年建築に向けて事務等を進めていきたいと考えている。

〔質問〕 出稼ぎ解消のため男子型企業の誘致を選挙公約しているが、企業誘致によって出稼ぎを解消するのか。企業誘致の時期、職種など具体的に示してほしい。難しいとすればどうするのか。また、

などの対策を講じ、一応の成果はあがっていると思う。遅れているとはどのような事実をいうのか。また、組合病院の資料とはどういうものであり、その入手経路は。

町民の体位向上と成人病対策のため、プロジェクトチームを作つて対応すると言うがチームの具体的内容は。

〔答〕 従来実施されてきた対策の実績については、評価するものである。しかし、残念ながら、成人病の代表的病気がといわれる脳卒中の死亡率は郡内一と言われ、全県平均よりも非常に高い数値を示し

出稼ぎ解消のための具体策があるかどうか。

〔答〕 過疎化への歯止め、町民生活の安定等からしても男子型企業の誘致は必要かつ大事なことであり、実現に向けて努力していきたい。誘致企業の職種、就業者数、誘致年度など、具体的なことについてはこれからの努力で決まることであり、現段階では申し上げかねる。議会特別委員の調査結果等をふまえ、皆さんと協議のうえ決定していきたいと考えている。

出稼ぎ解消対策としては、もちろん企業誘致だけではなく、地場産業の育成等、冬期にできる複合経営等についても今後、検討していかなければならないと考えている。

ている。これは、由利組合病院で出している統計にも明確に示されている。こうしたことをふまえ、町民の体位向上、成人病対策等の面からプロジェクトチームをつくり、在任中、真剣に取り組んでいきたいと考えている。チームの人員、組織等、具体的なことは今後の検討課題である。

資料は由利組合病院で発行したものである。

〔質問〕 東中生の体位が他町村に比較して劣っていると聞いているが、学校要覧による資料では全県平均に比べ劣

(6ページに続く)

(一般質問5ページから続く) 一つおらず、むしろ優れた数字になつてゐる。どのような資料により劣つてゐるのか。町長のほか、教育委員会の意見も伺いたい。

〔答〕 体位というもののとらえ方をどこに置くかによつて判断が違ふわけだが、身長測定等、全体的にみた場合は大体県内平均となつてゐる。しかし、学年別に見ると、全県平均に比べ劣つてゐるものもある。統計上は、クラスに背の大きい人がいると平均値は上がり、小さい子が多くいると下がるということになる。伸長期にあるこの大事な時期

### 学校跡地の利用をどう考える

小野作右工門議員

〔質問〕 通学路を整備すると言つてゐるが、旧小学校全体を指すのか、蔵老方小統合校に関するものか。

〔答〕 蔵老方小統合校に関する通学路の整備の問題であり、特に、低学年児童の通学、事故防止等併せた道路整備を検討していかねばならないと考へてゐる。

〔質問〕 学校給食は町民の食生活と関連のうえで考へると言つてゐるが、食生活の具体的内容、給食材料の調達との関連は。また、給食施設、栄養士等の配置、人選について

に、学校給食があつたならばさらに体位の向上がはかられるであろうという意味で体位の向上を訴へたものであり、ご理解を得たいと思ふ。

〔教育委員長〕 町長の答弁で理解されたと思ふ。東中で発行している「保健だより」の中に、各測定結果グラフとともに養護教諭の総合的意見が載つてゐる。それをみると、二年生男子が県平均より少し下回つてゐるが、総じて全県・全国平均よりそんなに劣つてゐないと思つてゐる。

〔質問〕 町民生活の幸せの道として出稼ぎ解消をうたつてゐるが、五十七年度の出稼

てどう考へてゐるか。また、中学校給食を早期に実現したいというが、具体的方針は。

〔答〕 中学校の給食については前述のとおりであり、理解いただきたい。学校給食は、体位の向上に向けた栄養のバランスをはじめとし、食事マナー、清潔習慣の形成、食生活に対する知識の高揚等、すべてが町民の食生活に波及し、影響を与えるものであると認識してゐるものである。

〔質問〕 小学校統合に伴う学校跡地「校舎・敷地」の利用をどう考へてゐるか。〔答〕 学校跡地については、それぞれ長い歴史のうえで地域住民とも深い関わりを持つ

ぎ収入総額はどの程度で、解消にあつたつてこの収入額をどう補つていくのか具体策は。冬場に強い複合経営を早急に検討すると言つてゐるが、具体的内容は。

〔答〕 毎年七百人以上も行つてゐる出稼ぎを解消するといふことは、現時点では不可能であろうと思ふ。しかし、解消に向けた行政努力ははらつていかなければならないと考へる。

出稼ぎ収入額は、必要であれば後で差し上げたい。どうやつて収入を補うか、また、複合経営の具体的内容については、今後検討していかね

ものであり、地域住民の意見を十分聞き、議員各位の意見を尊重して、よりよい方向で慎重に決定していききたいと考へてゐる。

〔質問〕 生涯教育にかかるとして、生涯教育の分野について具体的に。

〔答〕 人間の生きがいは、生きることの喜びをかみしめながら常に学ぶところにあると考へる。日々学ぶということのたいせつな生涯教育の中に占める社会教育のウエイトは大きく、住民の期待も年々大きくなつてきており、実践活動の中心機関として位置づけられている公民館の運用、活動を重視し、強化していききたいと考へてゐる。

ればならない大きな問題の一つと考へるものであり、出稼ぎ解消に向けて善処し、努力して行きたいと思つてゐる。

〔質問〕 企業誘致にあたり、本町に適する企業としてどんなものを考へてゐるか。また、西山工業団地との関連、導入にあつたつての年次計画はどう考へてゐるか。

〔答〕 企業誘致に対する考へ方は前述のとおりである。年次計画についてはこれから問題であり、皆さんと協議のうえ検討していききたいと考へてゐる。

〔質問〕 我々には、郷土の文化を保存し、将来にわたつて継承していく責任がある。しかし、本町にはそうした施設がなく、今後検討していかねばならない問題の一つである。このことは、町の過疎振興計画の中にもうたつてゐる。財源のねん出等、具体的

なことにについては今後の問題として、皆さんと協議、検討していききたいと考へてゐる。

〔質問〕 先ほどの教育委員長の報告によると、東中生の体位は、むしろ国・県平均を上回つてゐると理解したが、町長はどういう資料をもとに劣つてゐると言ふのか。資料は数年前のものでないのか。

〔答〕 私の手持ちの資料にも色分けしてゐるが、現実にも色分けしてゐるもの、県平均より劣るものがあるわけであり、劣るところがないように努力する姿勢が行政の中になければならぬと考へるものであり、そういう意味から体位の向上を申し上げてゐるものである。

〔質問〕 高齢者対策を訴へてゐるが、実態を把握してゐるのか。

〔答〕 統計が示してゐるように、年々、高齢化社会が進展しており、高齢者の就労場所の確保が大きな問題となつてくると思ふ。こうした問題について、皆さんといろいろ検討し、行政に反映していかねばならないと思つてゐる。

〔質問〕 本町ではこれまで、主権在民の議会政治が行われてゐなかつたと認識してゐるのか。

〔答〕 民主政治の基本理念は「主権在民にある」といふことは論議をまたないところである。首長の座にあつても常に「町民の代表としてある」

る。

〔質問〕 特別養護老人ホームの建設については、周辺市町村の協力と理解なくしては誘致不可能と考へるが、どれほど密接な関係をもつて六十年建設を見出せるのか。

〔答〕 ご指摘のように、現時点では本町の対象者のほか他町村からの入所者がなければ経営は成り立たない現状であり、周辺町村の協力、調和が得られるよう真剣に取り組み、接触し協調できるような努めていきたいと考へてゐる。

〔質問〕 町行政の発展は、集落自治の理解と協力なくしては成し得ない。この集落自治の結集をどうPRし、行政に反映し、期待に答え、町勢を発展させていく考へか。

〔答〕 地域住民の団結・融和のほか、町政を進めるうえで力になり、頼りになるものであり、また、行政を末端まで浸透させていくという行政目的のうえからも大事な集落自治であり、よりいっそう充実させ、連携を深めて行政執行にあつていききたいと思つてゐる。

という認識のもとに町政をあげるということであり、私の基本的考へは、所信表明でも明確に申し上げてゐるとおりである。

〔質問〕 町政の流れを変へなければならぬと言われているが、流れとは具体的に、

### 町政の流れを変へるとは

小野 要造議員

〔質問〕 選挙戦を通じ、主権在民の原点を取り戻さなければならぬと言つてゐるが

何であるか。

〔答〕 町政の流れとは、目的が同じであっても、人が代わることによって行政の進め方、政策の打ち出し方も変わってくることであり、そのような状態を指して言っているもので、流れが変わるといいうことについて私はそう理解しているものである。

〔質問〕 過般の首長選挙で町長は、正しい選挙権の行使を訴えていたが、選挙期間中、畠山陣営において取りしまり当局より選挙運動に対する警告を受けたと側聞した。その事実はどうか。正しい選挙となえながら、今だかつてない暗い選挙に終わり、集落、職場、各年代層にも今だ釈然としないものが残っており、社会的、また対外的にも大きな汚点を残した結果になったと思うが、町長はその責任を痛感しているかどうか。

〔答〕 選挙倫理について議論するつもりはない。また、選挙取り締まりについてももちろん、私の答えるところではない。

### 畜産総合指導センター — についての考えは

川尻 幾郎議員

〔質問〕 立候補の時点で町長は、農商工一体の振興をはかると力説されていたが、具体的な振興策はどう考えているか。

〔答〕 我が町は農業の町であり、農家が消費する商業、工場に働いているのはほとんどが農家の子女である等の観点からしても、農商工一体の具体的政策を進めるといふ考え方は基本でなければならな

と見解は。

〔答〕 質問の趣旨がよく理解できない面もあるが、愛郷の精神教育というものは、町発展のためにたいせつなことであり、私自身逆行するようないかなければならない。

〔質問〕 対話をたいせつにする町政の具体的な内容は。

〔答〕 前にも述べたとおり、対話をたいせつにする町政は私の基本姿勢であり、すべての行政の進め方にこの考えを取り上げ、執行していきたいと考えている。例えば、道路改良一つにしても、地域住民の声を聞く機会を多く持ち、十分ではなくても住民の納得できる、より良い方向に進めるといふことであり、そうした努力をするということである。

〔質問〕 青年の意見を取り入れるために積極的に行政に参加させるといふが、具体案は。また、青年会議の内容と各諮問機関に青年を参加させる具体的な方法は。

〔答〕 青年層の意見は、町の将来、発展のためにも大事なものであり、町政の中でもかなりのウエイトを占めて取りあげていかなければならないと思う。

〔質問〕 産業行政について、行政参加の方法はいろいろ考えられるが、その一つとして、仮称だが「青年会議」といふものを持ちたいと考え、検討を加えるところである。

〔答〕 産業行政について、次のことについて具体的に説明されたい。

〔質問〕 産業界が他町村に比べて遅れていると言っているが、

〔答〕 産業界が他町村に比べて遅れていると言っているが、三百軒という膨大な民有林を持ち、県内でも上位にランクされている本町の林業政策を、今後どう進めていく考えか。

〔質問〕 本町は、全町面積の八三%が森林であり、この中の九〇%が民有林で、杉の植栽面積は約四千五百七十畝に及ぶ林業の町でもある。ご指摘のように、現在、林業経営は苦しい立場に置かれているが、森林組合と一体となり、林業振興に力を入れていききたいと考えている。

〔質問〕 外材依存に伴う伐期の延長、人件費の高騰など、林業経営は非常に苦しい立場にいま置かれているが、九千

何がどこに比較して遅れているというのか。

〔答〕 産業界について、二、農協と行政の一体化について、どう進めていくのか。三、農業の複合経営の見直しと強化について、どう改善していくのか。

〔質問〕 町道の舗装率は全県六十三位と指摘されているが、単に町道という名称だけの舗装率であるのか、農道、林道、集落道等、各種の生活道路を含めた総体の舗装率をもっているのか。

〔答〕 町道の舗装率は全県六十三位と指摘されているが、単に町道という名称だけの舗装率であるのか、農道、林道、集落道等、各種の生活道路を含めた総体の舗装率をもっているのか。

握したうえで具体策を示していきたく思っている。

〔質問〕 選挙用自動車の使用は、通常、候補者一人に一台と規制されているが、過般の選挙で、候補者以外の支援団体と思われるものが同様の自動車を使用して街頭で連呼していたが、その行為は合法であるか否か、町長の考えを聞きたい。

〔答〕 選挙取り締まりに属する問題であり、答弁は差し控えたいと思う。

〔質問〕 建設省で定めた規定の河川敷、河川幅をとるとすれば相当のつぶれ地が出ると思うが、これをどう解決する考えか。

〔答〕 町道として位置づけられているものの舗装率が全県的にみて遅れているということから、県で発行している統計書類をみても事実である。これまでの実績は高く評価するが、これで満足していいと考えてはいられない。遅れているものを高めていくことが行政の

(一般質問7ページから続く)  
姿勢でなければならぬと思  
う。財政等いろいろな問題も  
あると思うが、こうした対策

### 財政ひっ迫打開 にどう取り組む

#### 五十嵐宗憲議員

〔質問〕 町政の流れを変え  
るために住民に推されて立候  
補したというが、具体的にど  
う変えていきたいと考えてい  
るか。恒久的に豊かで明るい  
住みよい魅力ある町づくりは、  
変わることにない町政の流れ  
であると私は認識しているが。

〔答〕 ことばの考え方に  
いて議論するつもりはない。  
私の考え方、とらえ方は先に  
答弁したとおり、目的は同じ  
であつても人が代われれば、打  
ち出す政策、進め方、とらえ  
方が変わる、これが一つの流  
れであると思うし、これは一  
般に流れを変えるという表現が  
使われている。

〔質問〕 公債費比率、債務  
負担行為の増高等により、町  
財政の健全な運営が難しくな  
ってきているとの見解だが、  
この財政ひっ迫の状態を打開  
するため、今後いかに取り組  
んでいく考えか。

〔答〕 行政改革やマイナス  
シリーディング、増税等、国・県  
でも財政対策に真剣に取り組  
んでいる。本町としても、こ

についていっそう力を入れて  
いきたいと考えるものであり  
理解を得たいと思う。  
他町村をそうした観点でみ

れらをふまえながら、今後の問  
題として従来の行政組織、人  
事機構、予算編成等、検討し  
ていかなければならないと思  
う。どう切りぬけるかという  
ことは、今後の重要課題と考  
えている。

〔質問〕 町民憲章制定の意  
義と効用、また、町民ホール  
の設置内容は。

〔答〕 町民憲章は、町づく  
りのための町民みんなの目標  
となり、町民総参加の道しる  
べになるものとして、是非制  
定したいと考え、現在準備中  
である。

〔質問〕 蔵老方小学校の通  
学路の整備計画、並びに通学  
手段はどうなっているか。

〔答〕 通学路整備に対する  
考え方は、小野(作)議員に  
答弁したことで理解を得たい  
と思う。  
(教育長) 通学手段につい  
ては、祝沢方面からの通学対  
策が問題となるが(現在の通  
学者二名)、スクールバスの  
運行は事実上不可能であり、  
代替措置として通学費補助、

たことはないが、町内を歩い  
てみて、遅れているという感  
じには変わっていない。  
河川改修については、今後

冬期間の住宅解放等、多面的  
に検討している。  
〔質問〕 東中の給食につい  
て六十年をめぐりにしている  
というが、間違いがないか。  
〔答〕 財政面、また教育施  
設整備とのからみのうえから

### 職員採用の基準、能 力開発はいかに

#### 遠藤 正男議員

〔質問〕 町政の主権を町民  
に取り戻すために立候補した  
といっているが、主権はこれ  
までどこにあったと考えてい  
るのか。

また、町政の主人公は町民  
であり、対話をたいせつにし  
たいと言っているが、六千余  
りの町民が皆同じ意見でない  
ようであり、どの程度の尺度  
で対話をし、町政に反映して  
いこうとするのか。

〔答〕 政治理念については、  
所信表明等これまで述べてき  
たとおりであり、理解をいた  
だきたいと思う。  
「町民に戻す」という言葉  
の問題であるが、これまで、  
対話・意見を重視されなかつ  
たという考えを持っている町  
民も多くいるだろうと思う。  
こうした中で、民主政治の基

の災害等をふまえ、災害が発  
生しそうなカ所、そうした現  
実に即した部分的改修から実  
施していきたいと考えている。

六十年以降をめぐりと考える  
ものである。  
〔質問〕 第三期山村振興対  
策事業について、八月九日の  
議会協議会に示した資料をも  
とに県とヒヤリングしたのか。  
〔答〕 先に答弁したとおり、

本理念に立ち、しっかりとやっ  
ていこうという私自身への戒  
めの言葉でもあり、そうした  
意味を持つものでもあるとい  
うことで理解してほしい。  
〔質問〕 選挙期間中、畠山  
候補に応援した人の子弟でな  
ければ町職員に採用しないと  
いう声が全町的に聞かれたが、  
職員採用の方針と基準は。

また、職員の能力開発とい  
っているが、どのようにして  
行うのか、具体的方策を。  
〔答〕 町職員の採用につい  
て選挙期間中に約束したと言  
っているが、そうしたことは  
ひと言も言っていない。寝耳  
に水である。そうしたことは  
全くないことをはっきりと申  
し上げておくものである。

職員採用については、欠員  
補充採用が原則である。行政  
改革、財政等、政治情勢をか  
らめて検討していかなければ  
ならないと思う。  
能力開発について私は、就  
任時に職員に対して私の考え

着任早々検討し、県に職員を  
派遣してヒヤリングを行って  
いる。  
〔質問〕 内外に誇れる特産  
品をと言っているが、何か具  
体的なものを考えているのか。  
〔答〕 我が町に何か一つ特  
産品をということは、私の念  
願でもある。検討はこれから  
だが、現時点ですぐ出てくる  
のは桐であり、これを生かし  
た特産品ができないものかと

方を示し、実行をお願いした  
ものであり、具体的方法は、  
これから検討し、打ち出して  
いかなければならないと思っ  
ている。  
〔質問〕 町報九月号に掲載  
された職員を前にした就任あ  
いさつの中で▽職責の自覚と  
再確認▽奉仕観念と公僕精神  
▽職分における責任と十二分  
の能力発揮▽創意工夫▽明る  
い職場づくりーと言っている  
が、具体的にどう進めるの  
か。

また「誤ちは正せばよいし、  
正しいことはあくまでも継続  
する」とあるが、私は、役場  
の職員はその職責において誤  
ちは許されないものであり、  
ただちに逮捕等の処罰を受け  
るものであると思う。誤ちは  
人に見つからなければ誠実、  
清潔であると考えているのか。  
〔答〕 私が申し上げた、い  
わゆる「言葉のあや」の問題  
を取り上げての質問であるが、  
ここで議論するつもりはない。

考えているし、だいいじょうぶ  
ム建築は六十年をめぐりと  
言っているが、だいいじょうぶ  
か。  
〔答〕 先に伊東議員に答弁  
したとおり、県の幹部との接  
触のなかで強い感触を受けて  
いるものであり、六十年建  
設をめぐりに事務等を進めてい  
きたいと考えている。

ただ申し上げたいのは、職責  
の自覚と再確認というものは  
節目節目において、また考え  
方によっては毎日姿勢を正し  
て行うのが公務員としての姿  
勢であると思っっている。つま  
り、常にガラス張りの中で町  
民に奉仕していかなければな  
らない職務であるということ  
を、強く訴えたものである。  
〔質問〕 立ち会い演説会の  
中で、思い切った役場の窓口  
改善をすると公約し、今回の  
補正予算案に計上しているが、  
改善についてどれだけの町民  
と相談し、意向を聞いたのか。  
また、町民ホールの設置を  
公約しているが、現在の古い  
庁舎の状態がいじくり回して  
も、町民に喜ばれるものとは  
きかないのではないか。そう  
なると新庁舎を建築しなければ  
ならないと思うが、四年間に  
建築する考えがあるか。  
〔答〕 窓口改善に対する考  
え方は、これまで述べてきた  
ことで理解してほしい。

いじくり回しても町民の納得のいく、喜ばれる庁舎はできないのではないかとこのことであるが、根本的なことを考える場合にはなるほどそうかも知れない。しかし、苦しい財政状況にありながらも、町民が入りやすい、親しみやすい町民の役場に改善していかうとするのは、管理者として当然のことであると思つて

新庁舎建築は理想であるが、町財政事情とにらみ合わせ、じっくりと検討したうえで判断していかねばならないと思うものであり、現時点で建築するといった考えは持っていない。

〔質問〕 町民体育館の建設時期見通しは。

〔答〕 皆さんもすでにご承知のように、第三期山振事業

計画に組み入れられている。町民の渴望するものでもあり、早期に建築できるよう努力していきたいと思つている。

〔質問〕 部落から部落への生活道路の改良が遅れていると言うが、町内の各部落間の境界がどこであるか把握しているのか。

〔答〕 小集落間の境界は、はっきりいってわからない。私の言つた集落から集落とは、いわゆる大きな集落間のことを言つたものであり、そう理解してほしい。

〔質問〕 川尻議員の河川改修に関する質問に町長は、部分改修であるということだが、立ち会い演説会では「災害復旧でなく、計画的な改修を進めたい」と話しており、全面改修のことを意味していたのではないか。

〔答〕 現在、国・県・町道の各路線で局部的改良工事が進められているが、国・県・町の財政事情が極めて厳しい時機にあつて、今後、継続的工事のための具体的な構想について伺いたい。

〔答〕 本町で現在行われている河川改修は、災害復旧工事のみである。私は、こうした災害の発生が予想されるカ所について事前にチェックし、それを年次別、計画的に改修していこうというものであり、理解を願うものである。

〔質問〕 青年の意見を積極的に行政に取り入れたい、青年会議を設置する、各諮問機関に青年を参加させる」と言っているが、町民が主人公というならば、青年だけでなく、なぜ婦人、お年寄りもここに加えなかったのか。

〔答〕 私の意図するところは、婦人、お年寄りはもちろん、すべての町民の意見を重視してやっていきたいと思つるものである。特に青年層という言葉を使つたのは、我が町の将来を担う層の意見を重視したいという行政姿勢を申し上げたものであり、そういう意味で青年の意見、青年会議ということばを取り上げたものであり、ご理解願いたいと思つる。

〔質問〕 災害復旧的なものでなく、計画的河川改修を進めると言うが、河川沿線の用地買収、地権者の同意を得るための手法をどう考えているか。

### 東由利・秋田間の最短路線構想とは

小松与惣雄議員

〔質問〕 現在、国・県・町道の各路線で局部的改良工事が進められているが、国・県・町の財政事情が極めて厳しい時機にあつて、今後、継続的工事のための具体的な構想について伺いたい。

〔答〕 選挙中、東由利・秋田間の最短路線の将来構想を立てると言っているが、既に五十四年一月、東由利、矢島、島海、大内、大森、雄物川、羽後、雄和の八町によって内陸縦貫道整備期成同盟会が発足し、それぞれ上部機関に陳情等を行つている。これと別の角度で将来構想を立てるのか。

〔答〕 厳しい財政状況下に就任し、対話の姿勢を強く打ち出した日でもあります。面会時間は「午前九時から午後四時（土曜日場合は午前十二時）まで」としていますので、ご自分の都合の良い時間に、役場窓口の受付係にお出でいただきたいと思います。

〔質問〕 選挙中、東由利・秋田間の最短路線の将来構想を立てると言っているが、既に五十四年一月、東由利、矢島、島海、大内、大森、雄物川、羽後、雄和の八町によって内陸縦貫道整備期成同盟会が発足し、それぞれ上部機関に陳情等を行つている。これと別の角度で将来構想を立てるのか。

〔答〕 いろいろな事業が取り入れられ、ほ場整備や道路改良が進む中、大きな意味において今後の進むべき土木行政の方向、重点をどこに置かうかといったことをふまえ、河川改修の問題を申し上げたものであり、そういう意味でご理解願いたいと思つる。

## 毎月20日は「町長面会日」

### 町民の声を町政に

町民のみなさんの声を町政に―町では、よりよい東由利を築くため、毎月二十日を「町長面会日」とし、町民のみなさんから町政に対するいろいろなご意見をお聞きし、ご質問に答えることにしました。(二十日が休日の場合、又、やむを得ない出張等の場合は翌二十一日とします。)

ご承知のように、町では町民のみなさんの福祉の向上、発展をはかるため、い

ろいろな事業を実施していきます。これには当然、みなさんが何を考え、何を求めているのかを常に把握し、それを尊重しながら町政を進めていくことがたいせつです。

住民の意向を行政の中に十分反映し、そしてまた、対話を通して行政というものも理解してもらおう―これが、町づくりの基本であることは言うまでもありません。

こうしたことから「毎月二十日を町長面会日」とし、町長が直かに町民の皆さんと会い、ご意見を聞き、質問に答えることにしたものです。この「二十日」は、畠山町長が

就任し、対話の姿勢を強く打ち出した日でもあります。面会時間は「午前九時から午後四時（土曜日場合は午前十二時）まで」としていますので、ご自分の都合の良い時間に、役場窓口の受付係にお出でいただきたいと思います。

### 第10回 町議会臨時会

## 大台地区農道整備費など補正

第十回町議会臨時会は九月二十四日に招集され、五十八年度一般会計補正予算について審議、原案どおり可決して閉会しました。可決概要は次のとおりです。

〔昭和五十八年度町一般会計補正予算(第五号)〕

歳入歳出予算の総額に、それぞれ二千二百九千円を追加し、歳入歳出それぞれ二十

三億二千七百七十四万四千円とした。  
歳出補正は▽大台地区団体営農道整備費五百五万▽大琴線改良工事費二百八十六万五千円▽地下の沢線改良工事費四百七十七万五千円▽小倉地区水路災害復旧工事費百八十五万四千円―などが主なもの。

### 10月の町長面会日

県町村会出張のため

21日 とします

収支 8,298万9千円の黒字

【図1】 歳入の状況

総額 24億1,267万5千円

# 6千円使った台所

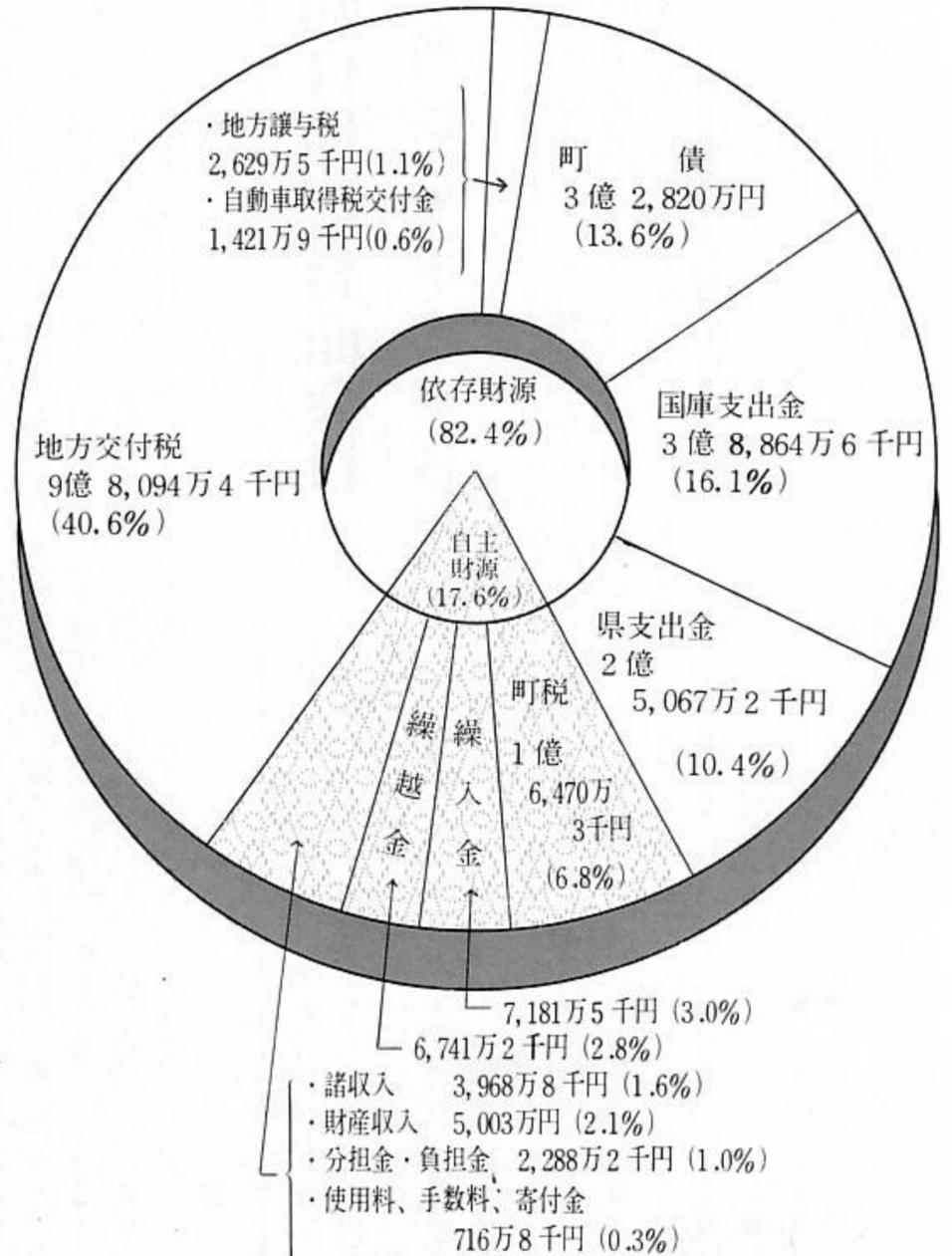
昭和五十七年度の町政は、臨調答申を尊重した国の緊縮型予算によって、公共事業の臨時拡大分の起債充当率の引き下げや零細補助金の見直し、カット、公債償還費について交付税需要額に算入されていた財源対策債の廃止など、一段と厳しい環境の中での行財政運営を余儀なくされました。

こうした中、執行にあたっては国・県の諸制度を積極的に活用し、効率的な財源の配

## 四七・八%が建設事業に

### 町財産の状況

基金	4億740万6千円
・財政調整基金	254,053千円
・土地開発基金	20,000千円
・高齢者等肉用牛飼育事業貸付牛購入基金	17,400千円
・奨学資金貸付基金	1,010千円
・中小企業振興基金	6,000千円
・高額療養費貸付基金	2,000千円
・簡易水道事業財政調整基金	19,575千円
・国民健康保険事業財政調整基金	86,968千円
・国民年金印紙購入基金	400千円
土地	7,328,134㎡
(うち山林)	1,264,802㎡
建物	31,198㎡
有価証券	149万3千円
出資による権利	807万9千円
自動車、ブルドーザー等	31台



### 公債現在高の状況

〈一般会計〉 21億722万円

一般単独事業債	356,744千円
義務教育施設整備事業債	137,410千円
辺地対策事業債	8,342千円
過疎対策事業債	854,756千円
公有林整備事業債	162,294千円
草地開発事業債	23,600千円
災害復旧事業債	102,761千円
秋田県貸付金	65,947千円
厚生福祉施設整備事業債	50,262千円
財政対策債	14,960千円
財源対策債	290,644千円
一般公共債	27,800千円
簡易水道事業債	11,700千円

〈特別会計〉 2億6,189万3千円

過疎対策事業債	49,411千円
簡易水道事業債	212,482千円

償還費に対して国から手当てされる割合

昭和57年度

主な建設事業の実施概要

事業名	事業費	事業の概要
千円		
▶補助事業◀		
〈道路〉		
団体営農道大台地区	43,430	改良 L=796m、W=5m
石滝線(土地総)	15,150	〃 L=328m、W=4m
稲子沢線(〃)	4,570	〃 L=266m、W=4m
直道線(〃)	25,730	〃 L=410m、W=4m
大下線(ミニ総パ)	14,332	舗装 L=725m、W=4m
宮ノ下線(〃)	25,123	改良 L=542m、W=4m
倉茂沢線(モデル)	4,788	舗装 L=300m、W=4m
葎沢線(〃)	3,085	〃 L=191m、W=4m
向山線(〃)	24,762	改良 L=346.8m、W=5m
寺田湯出野線(〃)	15,081	改良 L=343m、W=5.5m
町道金山線	30,000	舗装 L=1,193.8m、W=5.5m
農免農道整備負担金	9,681	改良 L=285m、W=7m
軽井沢地区		舗装 L=400m、W=5.5m
広域関連農道整備負担金・八沢木地区	4,950	改良 L=360m、W=7m
林道ボツメキ線	34,017	〃 L=538.1m、W=4m
〈畜産・林業〉		
団体営草地造成	9,901	大平 3.3ha
造林事業	5,090	保育
間伐促進対策推進	4,762	間伐 111ha
良質材化促進補助	1,791	枝打76ha、作業道550m
特用林産振興対策	2,910	桐新植9ha、保育21ha
〈教育・生活環境他〉		
八塩小学校建築事業	310,879	RC造 2,102m <sup>2</sup>
同小給食施設整備	59,260	RC造 339m <sup>2</sup>
スクールバス購入	8,040	八塩小 69人乗1台
大吹川袖山地区営農飲雑用水施設(モデル)	29,293	
集落排水整備(〃)	7,754	水路工 L=257m
消防施設整備	19,977	小型動力ポンプ付積載車1台 積載車2台、防火水槽6基
▶単独事業◀		
〈道路〉		
西ノ股線	3,837	改良 L=170m、W=4m
大平支線	1,025	〃 L=40m、W=4m
大平線	9,446	改良・舗装L=560m、W=5.5(6)m
島田線	4,509	舗装 L=249.3m、W=4m
地下の沢線	4,602	舗装 L=206.2m、W=4.5m
〈教育・生活環境他〉		
八塩小校地拡張造成	41,138	8,829m <sup>2</sup>
八塩小建築関連事業	25,406	解体・外構工事
大琴小自転車置場等建築事業	5,280	
大平スキー場整備事業	44,662	駐車場 2,500m <sup>2</sup> ヒュッテ 280.45m <sup>2</sup> 屋外トイレ 17.55m <sup>2</sup>
造林事業	12,521	再造林 60.7ha 拡大造林 124.3ha

昭和57年度 町の家計簿 ----- 実質

一般会計

総額 23億2,968万

歳入の中で最も多いのは、地方交付税の九億八千九十四万四千円で全体の四〇・六%を占め、次いで国庫支出金、町債、県支出金の順になっています。(図1参照)

町の財政力を示す自主財源は、全体の一七・六%にあたる四億二千三百七十一万円、このうち、町政を運営していくうえで最も基礎となる町税は一億六千四百七十三万三千円で、わずか六・八%となっています。

歳出を目的別にみると、八塩小学校の建築や大平スキ一場の整備などによって教育費がトップとなり、全体の二九・七%を占める六億九千二百五十六万四千円になっています。以下、農林水産業費、

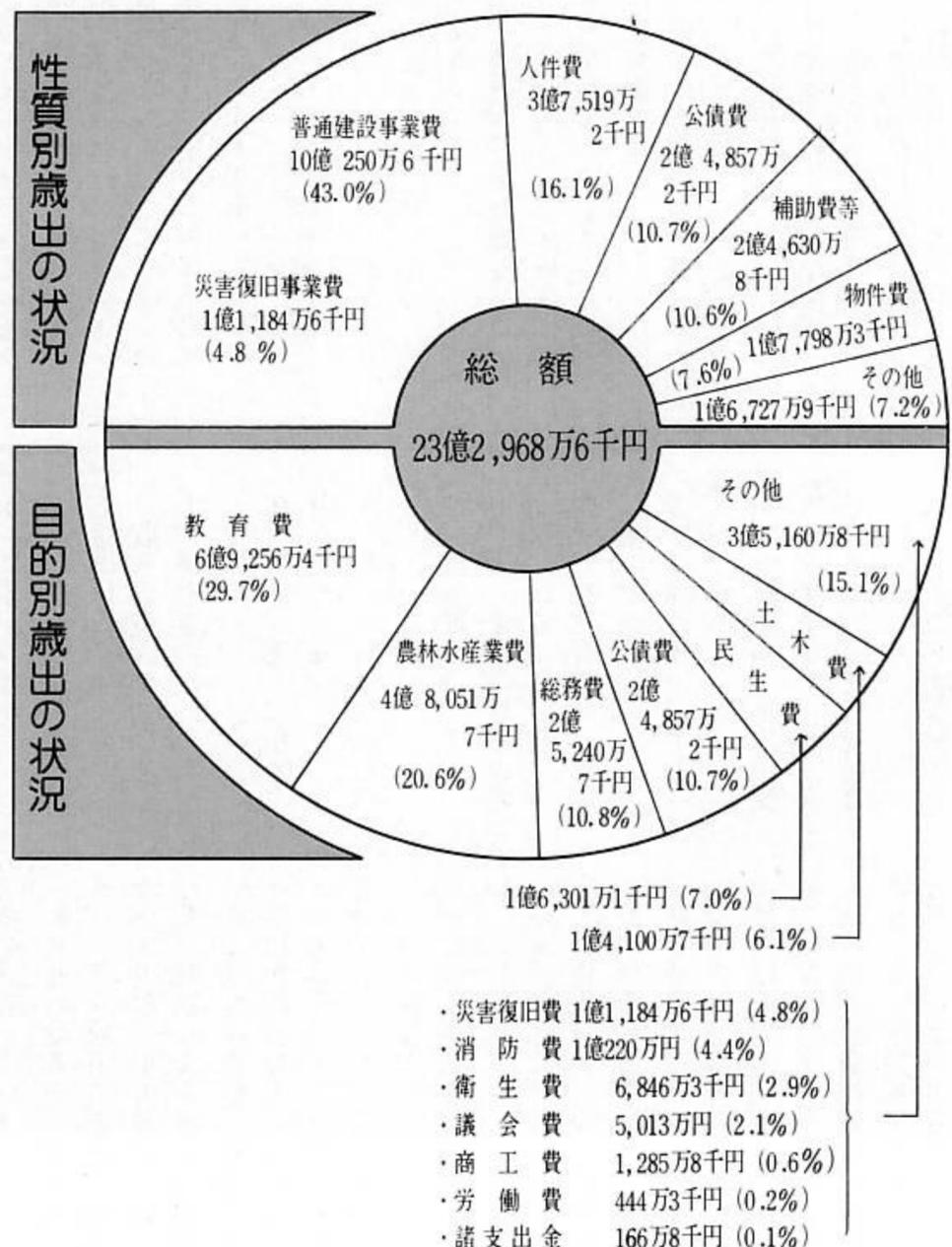
総務費、公債費の順になっています。(図2参照)

また、性質別では、町税の約六・一倍にあたる十億二百五十万六千円が普通建設事業費となっており、災害復旧費を合わせると全体の四七・八%が住み良い町づくりのための投資的建設事業に使われました。(図2参照)

町では、一般会計とは別に六つの独立した会計があり、それぞれ町民の皆さんの便宜を図るための事業を行っています。これら六つの特別会計も、それぞれ黒字決算となり、収支のバランスがとられています。(12ページ参照)

一般会計歳入・歳出の内訳と主な建設事業実施概要、町有財産、公債現在高などは次のようになっています。

【図2】 歳出の状況



### 特別会計 決算の状況

(単位：千円)

〔国民健康保険〕	
歳入	424,200
歳出	376,317
差引	47,883

〔老人保健医療事業〕	
歳入	17,423
歳出	8,692
差引	8,731

〔黒淵診療所〕	
歳入	2,007
歳出	1,970
差引	37

〔簡易水道事業〕	
歳入	318,370
歳出	314,375
差引	3,995

〔大平スキー場 運 営 費〕	
歳入	11,056
歳出	9,025
差引	2,031

〔玉米財産区〕	
歳入	6,249
歳出	3,648
差引	2,601

## 適確な財政見通しを

57年度  
決算審査

### 総務財政委員長報告(要旨)



審査結果報告をする  
長谷山総財委員長

九月十六日の本会議で付託された昭和五十七年度各会計決算について報告する。

各会計決算は、総務財政委員会に付託され、内容については各常任委員会との連合審査とし、町当局の説明を求めつつ慎重に審査した。

厳しい財政事情の中にもかかわらず一般会計歳入一〇・七%、歳出九七・三%という数字に見られるように、堅実な財政運営をしたものと言える。

なかでも、五十七年度に、農免道、団体営農道、ミニ総パ、モデル、水道、大平スキー場、さらに、念願の八塩小建築など、町民がひとしく望む建設的事業が執行されたことを大きく評価する。

申し上げ、町政運営にあたり配慮を要望する。

#### 総務財政常任委員会

しかしながら、歳入の多くを国・県にもとめている現状をみると、今後迫っている出羽丘陵農用地開発事業、第三期山振、モデル、水道などの着実な実施のためにも、町当局の一段の努力を望むものである。

財政事情を率直に町民に示し、厳しい現実を訴えるのは当然のこととはいえ、そのために町民に不安感を与えてはならない。当局には、厳しい中であつて、今後予想される各種事業が確実に実施できる、適確な財政見通しを示し、町民に希望と誇りを与える責任と努力を強く望むものである。

一般会計並びに各特別会計は、計数的に相違なく、適切であり、各会計とも、提案のとおり認定するものと決定した。審査の過程で、担当者それぞれ指摘事項、意見を述べてあり、十分な配慮を求めるとともに、特に次の事項を

#### 教育民生常任委員会

(1)、広域圏にかかわる電算化は、事務の合理化と職員削減をねらいとしたものであるが、必ずしも成果が上がっていないと言いたい。なかでも、税の電算化については問題があり、なにか合理化をさまたげているか十分検討し、事務合理化に一段の努力を望む。

(2)、第三期山振事業の計画用途で補正された研修費のうち、六〇%以上が未使用で減額されているが、今後の町の特産物の開発並びに生産品のマーケット開拓など積極的指導研修をはかるよう要望する。

(3)、子吉川水系に属する高瀬川は、その流域一市二町に及ぶ鮭の上った清流であつた。これを昔日に返す対策として、流域における汚染源の規制、魚道の改良、稚魚の放流、禁漁区の拡大などが必要である。早急に隣接市町、その他関係機関と連携のうえ、具体化の促進を要望する。

(4)、畜産総合指導センターの早期設置を望む。

#### 産業建設常任委員会

(1)、同一獣医師が、長期駐在するよう、行政努力を強く要望する。

(2)、国道107号線整備促進について、今後とも関係機関への強力な働きかけが必要である。

○玉米財産区  
財産区の管理運営費について、設立当初からみると社会事情の変化に伴い、その体質の改善を図る時期に来ていいると考え、今後、管理運営についての検討が必要である。以上。

## 57年度決算審査意見(要旨)

代表監査委員 遠藤 莊二郎

### ○審査の主眼

一、予算執行の内容と効果について

(1)、予算配当、執行の時期が適切であったか。

(2)、物品及び財産購入の時期、質、量、価格が適切であったか。

(3)、工事の設計に問題はなかったか、また不要不急のものはなかったか。

(4)、検査・検収事務が適切に行われ、不経済な支出が行われなかったか。

(5)、効果が期待できない財政援助はなかったか。

二、収入の確保について

(1)、調定事務の公正が保たれているか。

(2)、減額、更正に相当の理由があつたか。

(3)、徴収事務は厳正に処理されていたか。

三、会計処理について

(1)、会計年度の独立の原則は守られているか。

(2)、出納閉鎖期日は厳守されているか。

(3)、予算の議決前の執行はなかったか。

(4)、予算超過(議決、配当)の支出をしていないか。

(5)、予算の目的外支出はなかったか。

(6)、予算流用は当を得て

(7)、予備費充用は当を得ていたか。

(8)、収入、支出科目に誤りがなかったか。

(9)、記帳その他計算に誤りはなかったか。

### ○むすび

昭和五十七年度各会計決算について、審査の主眼に基づいて審査を行った結果、計数的に誤りはなく、証書類もよく整理され、会計経理に問題はなく適正と認められた。

町行政は昭和五十七年度、長びく世界経済の低迷と極端な国家財政の引き締め、特に行革、臨調による厳しい環境の中で、生産基盤の整備や生活環境の改善など、多様な住民の要望を抱えながら財政運営にあたられ、歳入歳出とも、高い執行率をあげられたことについては高く評価したい。

今後、計画執行される出羽丘陵開発及び第三期山振事業など多額の投資は、国の緊縮財政を受けて推進されることとなるが、当町の経常経費の増高傾向を十二分に勘案し、歳入確保に万全を期するとともに、常に経費の節減に留意され、真に住民福祉の向上に努力されるよう切望する。

昭和57年度末現在・一般会計

# 町の借金は21億722万円

## 償還費の約50%は国が手当て

〈資料1〉事業種目別町債の状況

(単位：千円)

種目	昭和57年度末現在高	事業内容
道路	911,120	町道改良、舗装、橋梁整備など
除雪	26,599	除雪機械・車庫整備
教育	294,909	校舎、体育館・プール、寄宿舎、スクールバス、用地取得など
公共施設	199,699	有鄰館・朋楽荘・各地区研修集会施設、診療所、公民館など
消防施設	71,174	ポンプ車、機械置場、防火水槽など
水道	41,848	沼・新沢・高村など各地区小規模水道整備
公有林	162,293	町有林の新植、保育など
草地	30,517	町営の草地造成事業
林道	65,473	土場沢・杉森・軽井沢1号各線整備
災害復旧	102,761	道路・河川・橋梁等の災害復旧
その他	200,827	大平農道、横渡グラウンド、大平スキー場、公共施設駐車場、集落排水整備、老人居室整備貸付など
計	2,107,220	

〈資料2〉

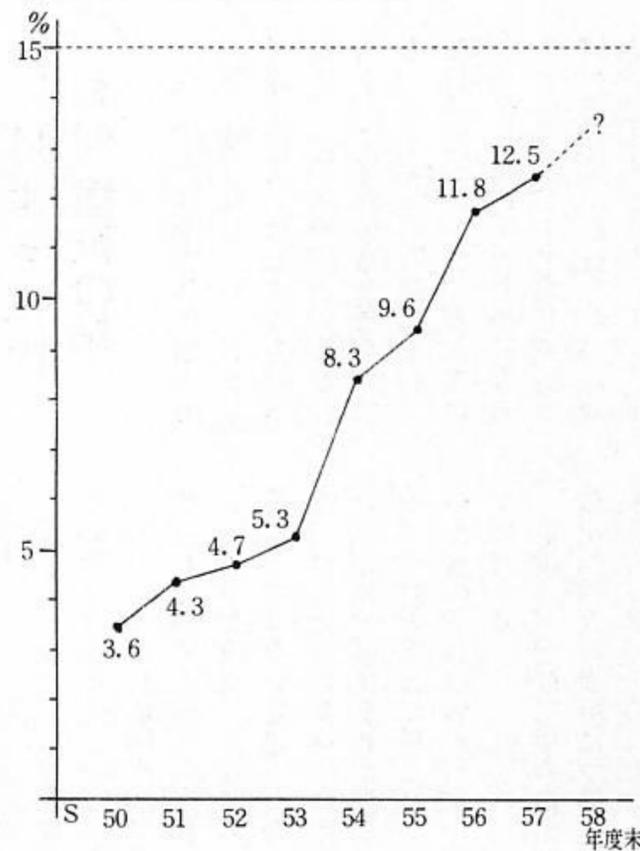
### 今後五年間における起債の償還状況

(単位：千円)

年度	50,000	100,000	150,000	200,000	250,000	300,000	合計
58	[Bar chart showing 149,897 and 137,685]						287,582
59	[Bar chart showing 171,266 and 127,820]						299,086
60	[Bar chart showing 193,228 and 115,425]						308,653
61	[Bar chart showing 208,138 and 102,358]						310,496
62	[Bar chart showing 196,125 and 88,210]						284,335

凡例 元金 利息

〈資料3〉公債費比率の推移



### 「公債費」ってなに？

町では「生産・生活ともに快適な東由利」を目指し、生産基盤や道路網、公共施設などの整備を進めています。自主財源が二割に満たない町財政状況では、補助金や融資金なくしては事業ができません。

昭和五十七年度各会計は、全て黒字決算となり、去る九月定例議会にて認定されました。しかし、八割強の財源を国・県に依存している町の台所は、行財政改革の推進や義務的経常的経費の自然増などから、いっそう厳しくなっていくことが見込まれ、予算編成、執行にあたっては、以前にも増して創意と工夫を凝らし、健全財政の堅持が叫ばれています。この健全財政、財政硬直度の目安の一つに「公債費比率」があります。そこで、今号では、町の「公債費」にスポットをあててみました。

この事業資金調達のための融資、つまり町の長期借り入れ金を「地方債」と呼び、これがいわゆる「町債」と言われます。

町では「生産・生活ともに快適な東由利」を目指し、生産基盤や道路網、公共施設などの整備を進めています。自主財源が二割に満たない町財政状況では、補助金や融資金なくしては事業ができません。

町債には、大きく分けて「償還金の一部、又は全部が、地方交付税の中に算入され国から手当てされるもの(10P)」「公債費比率一五%」とし、これを超える市町村に対しては「財政構造健全化計画」の策定をさせるなどの指導を加えています。

町債には、大きく分けて「償還金の一部、又は全部が、地方交付税の中に算入され国から手当てされるもの(10P)」「公債費比率一五%」とし、これを超える市町村に対しては「財政構造健全化計画」の策定をさせるなどの指導を加えています。

### あくまでも「健全財政」堅持

町債には、大きく分けて「償還金の一部、又は全部が、地方交付税の中に算入され国から手当てされるもの(10P)」「公債費比率一五%」とし、これを超える市町村に対しては「財政構造健全化計画」の策定をさせるなどの指導を加えています。

この償還状況は五十七年度末現在高にかかわるものであり、五十八年度以降の借り入れ、償還状況によって数値は変わってきます。

この町債を事業種目別に仕分けすると(資料1)のようになり、今後五年間における起債の償還状況は(資料2)のようになります。ただし、この償還状況は五十七年度末現在高にかかわるものであり、五十八年度以降の借り入れ、償還状況によって数値は変わってきます。

〈資料3〉でみるように、事業量の増加とともに公債費比率も年々高くなり、財政運営上、厳しさを増しているのも事実です。

しかし町では、自治体を運営していくうえで最も基礎となる町税収入が七%前後という財政構造のなかにあって、今後とも健全財政を堅持し、事業の緊急度や公共性を見極め、多様化する住民要望に答え、住み良い豊かな町づくりを努めていくことにしています。そのご理解とご協力をお願いいたします。

# 老人福祉は家庭から

## 町の社会福祉を高めるつどい

### 春子さんから四人が意見発表



高齢化社会が進む中、きめ細かな配慮のうえに、老人福祉対策を積極的に進め、地域福祉活動の充実を誓った「つどい」

## 広げよう東由利の福祉の輪

先ず、大琴小六年の畠山春子さんが「福祉という言葉は、私達小学生にはむずかしい言葉で、その意味がわからない人がたくさんいると思う。でも、たとえわからなくても、毎日の生活の中で、みんなのために、世の中のためにという事で努力していけば、それは「福祉」につながると思う」と発表。

よりもまず、困難な生活を送っている人々の、より人間らしい在り方を考えていくべきではないか。日本国憲法に述べられている「恒久の平和」は、戦争放棄だけで達せられることではないと思う。今一度、ほんとうの意味でのボランティア・福祉を考え直し、かつそれを実行に移していくべきなのではないか」と呼びかけました。

最後に、同校二年の畠山誠君が「老人の幸福は▽第一に家族の一員であること▽第二

「老人福祉は家庭から」をテーマに、町の社会福祉を高めるつどいが九月二十日、有鄰館で開かれました。これは、今年、老人福祉法制定二十周年にあたるのを記念し、敬老の精神を高め、社会構造の変化に対応してきめ細かな配慮のうえに老人福祉対策を積極的に進め、地域福祉活動の充実をはかろうと、町社会福祉協議会が主催したものです。

会場には、町長、議会議員、教育委員、民生児童委員、身障者協会、手をつなぐ親の会、母子福祉会、青少年団体連絡協議会員ら二百七十人余りが集い、開会式の後、小・中・高生合わせて四人がそれぞれ体験・意見発表を行い、福祉活動の充実を呼びかけました。



畠山春子さん



高橋留美さん



高橋良子さん



畠山 誠君

### 老人は、今日の社会を築いた共通の親

午後には、県生涯教育講師の藤原久八氏が「これからの真実の社会福祉を求めて」と題して、約三時間にわたって特別講演。

藤原先生は、自分の生きたちや体験を混じえながら、人間としての生き方、人間関係の根本にある心構えを説き、七十二歳とは思えない張りのある声で「家族は、人生の中で最大の親友である。また、

人を感動させるのは美しい言葉ではなく、深い愛情である。他人の幸せのために汗して働くことが社会福祉の基盤であり、同じ東由利に住む人たちが、ほんとうの心で結ばれ、真の福祉の町が築かれることを願う」と呼びかけ、その笑いと涙をさそう話し方は出席者の心をとらえ、深い感動を与えました。

このあと、町青年団体連絡協議会を代表し、町連合青年会長の鈴木和雄さんが「今日の社会を築いた共通の親とも言うべき老人に対し、暖かく手厚い配慮を図りつつ、広く住民各層との密接な連携と広範多岐にわたる新しい福祉課題に対応する施策の促進によって、老人福祉の充実を固く誓う」と宣言、全員がこれを採択してつどいの幕を閉じました。

# 安全願いパレード

蔵新田  
～蔵間

秋の全国交通安全運動

交通ルール・マナーの徹底を



秋の全国交通安全運動初日の九月二十一日、町交通安全対策協議会では、蔵新田から蔵小学校まで交通安全パレードを行い、事故防止を呼びかけました。

この日は「交通安全は家庭から」と書かれたたすきをかけた町長を先頭に、蔵小全校児童、交通安全母の会会員ら約百五十人が参加。交通指導車を先導に、蔵小鼓笛隊の演奏に合わせて行進を繰り広げ、交通ルールやマナーの徹底、安全運動の励行を訴えました。

本町での交通安全パレードは今回が初めて。同協議会では、毎年春・秋の全国蔵小鼓笛隊の演奏に合わせ行進し、事故防止を呼びかけた交通安全パレード。

交通安全運動に合わせ、今後もちょうしたパレードを順次各地区で行い、交通安全思想の

## 町内の交通事故

### ひとつ間違えば死の舞台に

ちなみに、今年一月から八月十五日までに町内で起きた交通事故は十四件、十六人が重軽傷を負っており、昨年同期に比べ、件数では五件、負傷者は七人、それぞれ上回っています。

幸い、死亡事故はないというものの、ひとつ間違えば道路が死の舞台になりかねません。ドライバーや歩行者のチヨツとした気の緩みが重大事故につながります。このことは、裏を返せば、チヨツとした気

そして、こうした不幸な出来事が、今後絶対に起きないよう、また、疑いを持たれるようなことのないよう、襟を正し綱紀粛正に努めてほしいと思います。

## いつそこの綱紀粛正を

### 不祥事件で町長が訓示

島山町長は九月十二日、東由利水道拡張事業に絡む職員の不祥事件発生により、全職員を役場会議室に集め、次のような訓示をし、一層の綱紀粛正を促しました。

既に、新聞等マスコミ報道によって皆さんご承知のように、誠に残念な出来事が町内に起こりました。このような不祥事は、我が町、役場にとって初めてのことだろうと思えます。事件の内容はつまびらかではなく、捜査当局の捜査結果を待つてしか言うことはできませんが、公務員としての職責が我々にある以上は、この事実を事実として冷徹に受け止めるべきではありません。職場の動揺を一刻も早く取り戻し、公務員としての職責を全うするため、いつその努力をしていただきたいと思えます。

今日からまた議会がありますが、冒頭、私は議会を通して町民に対しこの事実を報告し、私共の考え方を申し上げます。舌足らずではありませんが、私の言わんとするところをおくみとりいただき、今後も職務に精励し、全職員一致協力してこの不名誉をばん回していただきたいと思えます。

## バイクが小さいから

### 必ず入ろうバイクの自賠償保険(共済)

### 事故も小さいとは限りません

小さくて手軽に乗れるという便利さから、バイクの利用者が毎年増えていきます。しかし、利用者が増えるにつれて、バイクにかかわる交通事故も増加しています。小さなバイクだからといって、事故が小さいとは限りません。人身事故もたくさん起きています。

もし、無保険(無共済)で死傷事故でも起こしたら、それこそたいへん。損害賠償額が高額化してきているいま、

普及、高揚に努めたいとして、配りで、事故は防げるといふことです。

昨  
同  
年  
比  
一・五  
倍

交通事故防止の主役はあなたです。事故を起こしますと、本人はもとより、家族や親類にまでその影響を及ぼします。一人ひとりが事故の悲しみを自分自身のこととして、交通安全への心構えを新たにし、「交通事故ゼロ」の道を歩みたいものです。

無保険(無共済)状態で乗るというのはあまりにも無責任すぎます。

そこで、万一、人身事故を起こした場合に損害賠償がスムーズにできるよう、バイクも普通の自動車と同じように自賠償保険(自動車損害賠償責任保険)または、自賠償共済(自動車損害賠償責任共済)への加入が義務付けられています。

バイクでも、無保険(無共済)で走ると「六カ月以下の懲役または五万円以下の罰金、さらに違反点数六点」となり、免許停止処分となります。

いざというときのためにも、自賠償保険(共済)に加入しましょう。保険料(共済掛金)は期間が三年のもので七千九百円です。

詳しくは、自賠償保険については損害保険会社やその代理店(バイク・自転車店など)、自賠償共済については農業協同組合にお問い合わせください。

第七十二回県畜産共進会肉用・乳用牛、家兎部門が九月四日・五日の両日、本荘市の由利家畜市場構内で開かれま

# 克司さんの乳牛が農政局長賞

第72回秋田県畜産共進会

優等賞に好男さんの肉牛

## 第72回秋田県畜産共進会



農政局長賞を受賞し、個体解説が行われる克司さんの乳牛

した。出陳家畜は、県内各地区の共進会を勝ち抜いてきたはずれ劣らぬものばかり。本町か

昭和五十九年九月には岡山県で全国ジャージー共進会が、六十二年には全国和牛能力共進会が島根県で、また、これより二年前には東日本和牛能力共進会(場所・期日未定)

昭和五十九年九月には岡山県で全国ジャージー共進会が、六十二年には全国和牛能力共進会が島根県で、また、これより二年前には東日本和牛能力共進会(場所・期日未定)

らは、肉用牛七頭、乳用牛二頭、計九頭を出陳。慎重かつ厳しい審査の結果、乳用牛・ジャージー種の部で畑山克司さん(島)所有の「ウイローロマンスマイルストンミルキー」が優等賞・東北農政局長賞に輝き優勝旗が授与されたのをはじめ、肉用牛・高等登録群で佐藤好男さん(笹沢)所有の「第6ふくひめ」「きよひめ」「さつひめ」が優等賞を受賞。二頭が一等賞、一頭が二等賞、二頭が三等賞の好成績を収め、「畜産・東由利」の名を県下に知らしめました。

昭和五十九年九月には岡山県で全国ジャージー共進会が、六十二年には全国和牛能力共進会が島根県で、また、これより二年前には東日本和牛能力共進会(場所・期日未定)

国体出場六度目、上位入賞が期待される大庭邦子さん



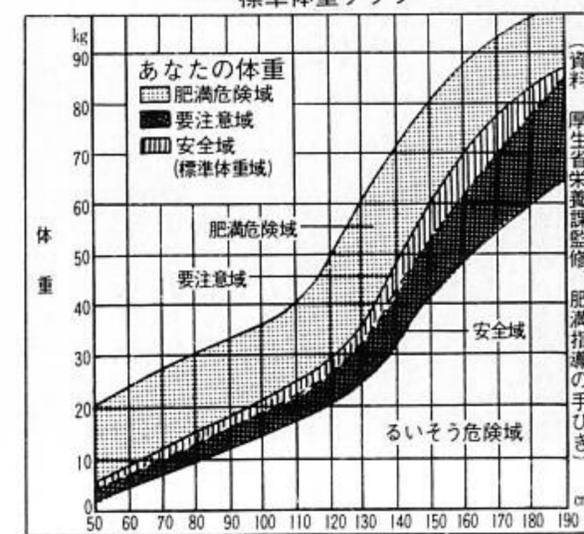
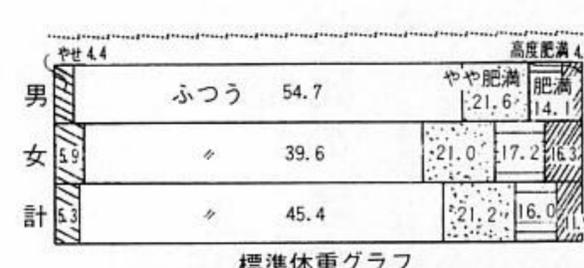
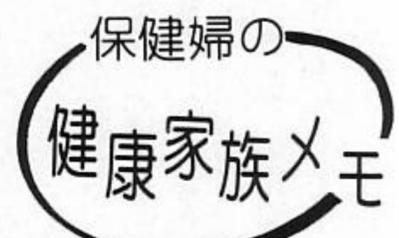
# 邦子さんミニ国体で優勝

あかぎ国体での活躍に期待

九月四日に福島市信夫ヶ丘競技場で行われた第十回東北総合体育大会(ミニ国体)女子走り高跳びで、本町大琴の大庭邦子さん(町公民館勤務)は、1.74をクリアし圧倒的強さで同大会五年ぶり二度目の優勝を飾りました。大庭さんが本格的に走り高跳びに取り組んだのは高校二年生から。もともと、この以

前、当時中学一年生だった昭和四十七年の第二十一回全県中学校陸上競技大会で、県記録にわずかに及ばぬ1.44を跳んで優勝。その名、実力は県内に知られていました。高校、大学と厳しい練習に耐え、実力を伸ばした大庭さんは、県体、インターカレッジなどの大会で常に上位入賞を果たしています。特に、高校三年生から大学四年生まで連続五回、秋田県代表として国体に出場し、四位一回、六位二回の輝かしい実績を残しています。

大庭さんは、十月十五日から六日間、群馬県下で開催される第三十八回国民体育大会秋季大会(あかぎ国体)に出場することになっており、本格的練習のできる施設が近くにないというハンディを背負いながら「自己最高記録は、昭和五十五年の全日本学生選手権で出した1.80。あかぎ国体では、入賞圏内といわれる。1.75が目標」と控え目に話す国体出場六度目のベテラン「邦子選手」に、関係者は大きな期待を寄せています。



肥満は健康の大敵  
食事と運動で体重コントロール

肥満とは、わかりやすく言うと「標準体重より余計な分だけいつも荷物を背負っている状態」を言います。ですから、全身に負担がかかり、特に心臓や他の内臓、足の関節なども当然損なわれやすくなります。また、統計的にみても肥満は心臓病、高血圧、動脈硬化、糖尿病などの成人病の素因とも言われますので、十分注意したいものです。左の標準体重グラフは、身長別に体重がどのくらいまでが正常か、要注意か、肥満かなど、ひと目でわかるための体重表です。自分の身長、体重からみて、要注意域、肥満危険域に入る方は、食事と運動によって体重をコントロールするように心がけましょう。

味覚の秋「天高く馬肥ゆる秋」とも言われますが、さて、あなたの最近の体重はいかがでしょうか？ 去る七月に町で実施した循環器検診時の計測結果は、左のグラフのとおりでした。肥満度からみると「やや肥満」「肥満」の男女差は大きくありませんが、高度肥満になりますと、女の方が男に比べて三倍以上も多いことがわかります。

標準体重 (身長(cm)-100)×0.9=標準体重(kg)→これを中心に前後10%の範囲、これを一応の「めやす」として管理する。

豆記者通信



東由利中2年 菊地 享 さん(右) 木島恵里子さん(左)

私たちが東由利中学校の生徒が自主的に行う部活動と、二回にわたって行う床みがきについて紹介いたします。

部活動は、剣道部(男女)野球部、バレー部、バスケット部、吹奏楽部、水泳部があります。今は三年生は部活を引退し、二年生が主体となって練習をしています。

体育館を三等分して部活動

剣道部とバスケット部とバレー部は、体育館を三等分して使っているの、ボールが飛んできた、人と人がぶつかりそうになることがよくあるので、みんなが気をつけてながら、声をかけ合っています。試合が近くなると、お互いにコートを貸しあって協力し、能率のよい部活動をしています。水泳部は泳ぐ時期もおわり、今はトレーニングにはげんでいます。野球部はどんなに暑い日でもボールが見えなくなるまで、練習を続けます。また、雨が降ったときなどは、廊下を利用したトレーニングをします。

年2回 裸足で床みがき

次に、一学期の終業式と、夏休み中の出校日に行われる床みがきのことをお知らせします。終業式の日には、自分達の教室の机やイスのずれなどで出来た一年間のよごれを落とす作業です。出校日には、分担された廊下などをみがきます。全校生徒が裸足になってスポンジたわしで、力いっぱいにきたない所をみがくのです。みがいたあとは、全員が雑巾をもってあわをふきとります。洗剤でつるつるするすべし、何十回もふきとるので大変です。作業がおわったあとを見ると、新しい校舎になったような感じがします。わたしたちは、できるだけ自分たちから行動をおこそうとがんばっています。

下郷分校が二種目制す 県高校全日制分校体育大会



級友や先生たちの声援を受け各種目に熱戦を展開した(バスケットボール)

第四回秋田県高校全日制分校体育大会が八月三十一日、本町を会場に開催され、本荘高校下郷分校は、軟式野球と男子バスケットボールの二種目を制したほか、バドミントン男・女団体、女子ソフトボールの三種目で準優勝の大活躍をしました。

この大会は、県内に六校ある全日制分校の生徒が一同に集まり、交流試合を通してお互いの実力向上をはかり親ばくを深めようと、毎年開いているものです。当日は、下郷分校をはじめ矢島高の笹子、羽後高の高瀬湯沢高の稲川、大曲農高の大森・太田の六分校から約六百人参加。各校選手は、級友や先生たちの声援を受け、野球、ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントンの六競技に熱戦を繰り広げました。各種目の優勝校等は次のとおりです。

【男子】▽軟式野球||本荘・下郷 ▽バスケットボール||同 ▽バドミントン||大曲農・大森 ▽卓球||矢島・笹子 ▽同個人||佐藤(羽後・高瀬) 【女子】▽バドミントン||矢島・笹子 ▽同シングルス||鈴木(矢島・笹子) ▽同ダブルス||大友・高橋(同) ▽ソフトボール||羽後・高瀬 ▽バレーボール||大曲農・太田 ▽卓球||矢島・笹子 ▽同個人||安倍(羽後・高瀬)

後田随想



議事事務局 局長 八嶋 保

発明王のエジソンが最初に発明したのが「電気投票記録機」だったといわれています。彼は、その第一号作品を携えて議会への売り込みを計ったが「これを使われたら少数の言論が奪われ、多数の意のままになってしまふ」と二重もな

- 【第四回秋季バレーボールクラブカップ大会、主催：町体育協会(九月十一日、東由利中体育館)】
・参加六チーム、トーナメント戦
〈成績〉
・優勝||ジジババクラブ
・準優勝||山崎イーグルス
・三位||ヤンガース
〈個人賞〉
・ナイスアタック賞 鍛崎和博(山崎)
・ナイスサーブ賞||大場隆(山崎)

体力に合った運動を
10月10日は「体育の日」
・ナイスセッター賞||小松良徳(山崎)
・ナイスレシーブ賞||佐々木幸子(ヤンガース)

# 生きがいある老後を共に 初の町老人クラブ大会開催



塚本先生の講話に目・耳を傾けるお年寄りたち

第一回町老人クラブ大会が九月九日、有鄰館で開催されました。

町内には十の単位老人クラブがあつてそれぞれ活動していますが、全体的なものはいままでありませんでした。このため、町老人クラブ連合会が昨年、設立二十周年を迎えたのを機に、十クラブ六百人近い会員が一堂に集まり、交流を深めながら明るく豊かに生きがいのある老後を目指そう——と、同連合会が今年初めて主催したものです。

大会は午前十時半に始まり、開会式に続いて、八塩小学校長の塚本ワカ氏が「家庭における祖父母の役割」と題して約一時間にわたり記念講演

をしました。この中で塚本先生は「おじいさん、おばあさんにとって、孫は文句なしにかわいいという。しかし、この子には長い将来があるということを考え、過保護にならないよう、自信を持ったほんとうのかわいいがり方を身につけてほしい。両親が外で働く家庭の多くなった現代、やさしい心豊かな子供に育てるために果たすおじいさん、おばあさんの役割は大きい。家庭

の秩序、家の歴史などを教えながら、仲の良い和やかな家庭づくりのカジ取り役としてがんばってほしい」と語りかけ、会場から大きな拍手が送られていきました。このあと懇親会に移り、ステージでは、のど自慢、うで自慢による大演芸会が開催され、会員らは初秋の一日、杯を交わしながらうたや踊りを楽しみ、話の花を咲かせていました。

## 東由利の地名

— 40 —

この小松さんの覚書からも、館前村から館野村として独立したことがわかる。安永一〇年(一七八一)の館野村は四一石八斗二升八合とあるが、宝暦八年(一七五八)の村高戸口明細によれば、本田と新田合わせて三五九石九斗九升七合、戸数六一、男一六二人、女一〇六人とある。但し跡見坂も入れた数字と思われる。また、館野村への堰の水争いで江戸表までの訴訟になったこと、目タダレ沢へ新しく

堤を築いて、水不足の解消を図ったことなども見えるが、館野村を南北に通る館野堰(通称新田堰)は、現在、新田部落はU字溝のコンクリート堰になっているが、当時は時雨山部落東の高瀬川から取水し、下小屋・高戸屋を通つ

### 新田(玉米) ②

ての長い距離の堰であった。この堰は、小字では新田・笹落・跡見坂・牡丹野をうるおす貴重な水であった。水不足を少しでも解消するために、あとから跡見坂の南に牡丹野堤を築いたが、今では揚水機で須郷田橋近くからあげてい

(文・畑山昭一)

## 子育て 親としてどうすべき 町連合PTAが研究集会



日常生活での実態や悩みなど具体的に例をあげ、突込んだ意見の交換が行われた町連P研究集会

第五回東由利町連合PTA研究集会が九月六日、有鄰館で開催されました。研究主題は「新しい時代を担う児童、生徒に豊かな心を持たせ、健全な育成をはかるには、親として

どうすべきか」。この日出席したお父さん、お母さんらは、開会式に続いて▽物をたいせつにする子どもに育てるために▽働ける子どもに育てるために▽思いや

りやさしさのある子どもに育てるために▽「がまん」のできる子どもに育てるために▽をテーマにそれぞれ分散会。青少年の非行や校内暴力、家庭内暴力が大きな社会問題となつてきているだけに、どの顔も真剣そのもの。▽安易に物を買ひ与えすぎる▽母親(父親)が、子の前で父親(母親)の悪い面を無意識のうちに口にする——といった自己反省を含め、日常生活での実態や悩みなど具体的に例をあげ、親の責任と対応、学校とPTA・地域・行政との連帯の必要性等、子育てについて突っ込んだ意見の交換が、終日活発に行われました。この日話された概要は、「連Pだより」に掲載され、児童生徒のいる家庭に配付されました。この機会に今一度、青少年の健全育成について家族みんなが話し合ってみてはいかがでしょう。

## みんなの胸に 赤い羽根



10月1日から  
共同募金運動  
が始まります

# 10月かなづきのこよみ(神無月)

曜日	行事
1 土	
2 日	
3 月	
4 火	農免農道整備事業竣工式
5 水	
6 木	民生委員協議会
7 金	三種混合予防接種
8 土	
9 日	
10 月	体育の日
11 火	違反建築防止週間(～17日)
12 水	
13 木	
14 金	
15 土	奥羽横断駅伝大会(～16日)
16 日	行政相談週間(～22日)、全町マラソン大会
17 月	
18 火	
19 水	一歳六カ月児健診
20 木	国保税(2期)督促状発送、三歳児健診
21 金	町長面会日
22 土	
23 日	
24 月	乳児健康相談
25 火	
26 水	国道107号線蔵工区竣工式
27 木	
28 金	農業委員会
29 土	
30 日	
31 月	
摘要	31日 町県民税(3期) 納期限 固定資産税(3期)

## おしらせ

### 町の概要 8月

☆人口( )内は前月との比較  
計 6,235人(+9)  
男 3,076人(0)  
女 3,159人(+9)  
☆世帯数 1,431戸(0)

( )内は1月からの累計  
■出生 7人(55)  
■死亡 7人(32)  
■転入 17人(100)  
■転出 8人(185)

○面積 148.51km<sup>2</sup>  
○東西 15.3 km  
○南北 14.6 km

## 町職員採用試験実施

町職員の採用試験を次に行います。申込用紙、受験案内等、詳しくは役場総務課にお問い合わせください。

◇職務内容…一般的な行政事務

◇採用予定人員…初級(高校卒程度) 若干名

◇申込期限…58年10月25日(火)午後五時

◇受験資格…昭和33年4月2日から昭和41年4月1日までに生まれた方

◇第一次試験…昭和58年11月21日(月)

・場所 秋田県自治会館(秋田市山王四ノ二ノ三)

◇第二次試験…昭和59年1月中旬(予定)

・場所 東由利町役場(予定)

## 休日診療所 10月2日オープン

本荘由利広域市町村圏組合では、広域医療体制整備の一環として、十月二日から「休日応急診療所」を開設することにいたしました。

休日に応急の診療を要するときは、同診療所を利用するようになります。診療時間等は次のとおりです。

▽開設場所 本荘市由利郡医師会立温泉病院構内(本荘市由利町字堤脇三〇、電話〇一八四二一四一三九一七)

▽診療日 日曜日・祝祭日及び一月二日・一月三日

▽診療時間 午前十時から午後四時まで

## 市内局番がふたケタに

12月上旬から、本荘市・由利郡の相互間は、市外局番をダイヤルしないで通話ができるようになります。

市外局番	現在 ↓ 工事完了
市内局番	〇一八四六九〇一八四
加入者	六九
電話番号	〇〇〇〇 ↓ 〇〇〇〇

後四時まで  
※ 受診の際は、保険証と老人・福祉医療受給者証などを必ず持参してください。

※ 休日応急診療所についての問い合わせは、役場住民課保険係へしてください。

## 自治医科大学で59年度入学生募集

▽受験資格 高等学校を卒業した人および59年3月卒業見込みの人、またはこれと同年以上の学力があると認められる人。

▽募集人員 一〇〇人

▽願書受付期間 59年1月6日から1月13日(必着)

※ 出願書類等、詳しいことの問い合わせは「秋田県福祉保健部医務課」へ。

## 善意

○町連合婦人会老方支部(長谷山シゲ支部長) 老方小へ雑巾13枚

○柴田サタヲさん(須郷田) 小松マツさん(同)、小野モトさん(同)、佐藤ナツヨさん(下小屋) 八塩小へお手玉36個

○小野民太郎さん(須郷田) 八塩小へ竹がえし(遊具)四組

## 社福だより

大吹川の佐藤公一さんから、亡父千代雄氏の香典返しとして金一封が届けられました。野田の阿部アキノさんから

東由利局の場合、市内局番は上の表のとおり二ケタになります。ただし、現在の加入者番号は変わりません。(東由利電報電話局)

## 慶弔だより

8月21日～9月20日受付 (敬称略)

## 〇うぶ声

佐藤 敦 新処 新一 長男  
小松 幹夫 十二ノ前 君悦 長男  
佐藤 真理子 寺田 俊一 二女  
高橋 有 横渡 隆治 二男  
大庭也社 舟木 忠幸 長男

## 〇結婚

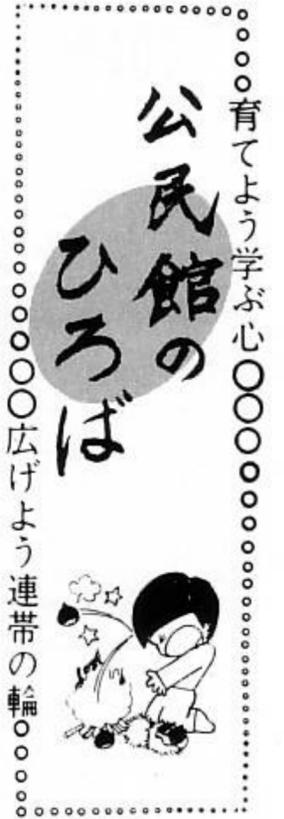
小松 忠 広 須郷田  
畠山 美保子 上通  
工藤 仙一 新処  
高橋 サチ子 鷹巣町

## ・お悔み申し上げます

畑山 昭光 館合新田 55歳  
遠藤 道吉 蔵新田 84歳  
高橋キミエ 智者鶴 79歳  
小松五之助 舟木 82歳

## お詫びと訂正

町報九月号15ページの社福だよりの記事「大琴の佐々木幸雄さんから亡父易之助氏の香典返しとして金一封が届けられました」となっていますが、「亡父賢次氏の香典返しとして…」の誤りです。お詫びして訂正します。



# 袖山に初の栄冠

## ＝ 第5回ママさんソフト ＝

九月十一日  
さわやかな秋  
空に恵まれた

台山グラウン  
ドで第五回マ  
マさんソフトボ  
ール大会が開  
催されました。

当初計画し  
た七月が、雨  
天と会場の都  
合で九月に延  
期となったた  
め、出場チー  
ムは三分の二  
の八チームに  
減りましたが  
和気あいあい

の中に熱戦が展開されました。  
試合は当初の予定どおりリ  
ーグ戦としたため、一チーム  
最低二ゲームを消化すること  
になり、グラウンドには終日  
夫や子どもたちの熱い声援が  
響きわたりました。

決勝は前年度の優勝チーム  
気迫のワインズと初優勝をね  
らう粘りの袖山という好カー  
ドの対戦となりました。

一・二回と連続得点を挙げ  
優勢な試合展開にあったワイ  
ンズの三回の守備の乱れをつ  
いて、大量八点をたたき出し

た袖山がそのまま押し切り九  
対五で初の栄冠を手中にし  
ました。

三位決定戦は、蔵対オノウ  
エで行われ、投打に勝る蔵が  
追い上げるオノウエを下しま  
した。

小松公民館長から栄誉が讃  
えられトロフィーと賞状を手  
にした選手たちは、ほほを上

## 町文化祭 11月5・6日

### 農協祭と同一期間で

本年度の町生活文化祭は十  
一月五日(土)六日(日)の二日  
間、農協祭とも期間を合わせ  
有隣館ほか三会場で開催され  
ます。

は次のように出品、展示して  
いただくことにしました。多  
数出品されるようご協力をお  
願いします。

▼出品 11月4日9時～13時  
まで各展示会場で受付。  
俳句、児童生徒の作品以外

昭和20年代は戦災からの  
復興、同30年代は建設、同  
40年代は繁栄の時代と称さ  
れるように、それぞれの年  
代には歴史の特色がありま  
した。

昭和50年代は情報過剰  
低成長、心の荒廃等々、多  
様な表現がなされています。

社会は今後ともめぐるし  
く変化し続け、年代を特色  
づける他の表現も多くなさ  
れるものとは思いますが、

## 心に栄養を

### 四〇〇字提言

ノの豊かさ、便利さを追い  
求めて心が痩せ細ったきらい  
がないでもないこれまでの生  
き方を、反省し合う必要があ

荒廃した心を健全に呼び戻す  
ことがこれからの時代の課題  
であるとも考えられます。  
ややもすれば「金」や「モ  
リ」の豊かさ、便利さを追  
求めて心が痩せ細ったきらい  
がないでもないこれまでの生  
き方を、反省し合う必要があ  
ります。  
ギスギスした人間関係の  
中で傷ついた心を癒し、心  
に刺ったトゲを化膿しない  
うちに抜くなど、心の健全  
さを呼び戻す「心の復興」  
時代とでも名づけ、真の人  
間の生き方とは何なのか、  
真の幸せとは何なのかを追  
求しながら、心に栄養を与  
え、一日一日を充実させて  
生活することが急務でなか  
ろうか。

## 前半活動に特色

### 後半も意欲的に

昭和五十八年  
度も今月から後  
半に入ります。  
本館を含めて各  
分館活動には町  
民から大きな関  
心が寄せられて  
います。  
今号では年度  
の前半が終了し

た九月の主な活動(事業)を  
紹介してみることになります。  
本館 ことぶき大学。青年  
体力テスト。ママさんソフトボ  
ール大会。体育指導委員研修  
視察。郡公連館長研修。分館  
長・主事・生涯教育奨励員合  
同研修。生活文化祭諸準備と  
うち合わせ等。  
住吉分館 自治会対抗ゲー  
トボール大会。玉米分館 移  
動分館。六地区での巡回映画  
教室。老方分館 第8回歩  
こう会、約百人参加。蔵分館  
第3回壮年管外研修。法内  
分館 第6回秋まつり、二日  
間のべ約七百人参加。袖山分  
館 町長を囲む青壮年講座。  
宿分館 演芸会等。  
以上、各分館はそれぞれ特  
色ある活動で前半を終了しま  
した。後半も町民の期待に応  
える活動を意欲的に展開しま  
すので各町民のご支援、ご協  
力をお願いします。

**第23回 奥羽横断 駅伝競走**

10月15日 10月16日

北 上

主催/岩手県教育委員会 岩手県高等学校体育連盟  
秋田県教育委員会 秋田県高等学校体育連盟  
岩手陸上競技協会 秋田陸上競技協会  
後援/岩手日報社 秋田魁新報社

本町通過は16日(日)10時30分頃となります。  
11時頃より全町マラソン大会も行われま  
す。ご声援ください。

## 移動文庫 新たに

### 黒沢と岩館に

先月中旬、本年度三回目の  
移動文庫の入れ替えが終了し  
ています。

利用率が低いとして、宮ノ  
前ジャンプ工場、ヤシオ縫製  
工場から受け入れ辞退があ  
りましたので、次のように変更  
しました。

移動文庫は受け入れ先のポ  
ランテイア活動により図書の

貸出し等、読書奨励活動を行  
っております。できるだけ多  
くご利用ください。

### 【新規受け入れ先】

▼黒沢 小松勝宅。▼岩館 阿部豊宅。(その他の受け入  
れ先は従前どおりです) 新規  
受け入れ希望がある場合は公  
民館へご一報ください。

### 【新規購入図書】

▼椋鳩十全集1～26(野獸  
の島、やせ牛物語など) ▼少  
年少女フアール昆虫記1～

8(玉ころがしの観察など)  
▼国土社の新作童話1～15  
(春の風花、ロビン・キャット  
とおかしな仲間など) ▼愛と  
絆の彷徨 ▼餅 ▼ちくま少年図  
書館1～69・71(愛の本、ひ  
とり立ちへの旅など) ▼昭和  
の歴史9・10 ▼歴史をつくる  
女たち1・5・6 ▼大字典 ▼  
現代の詩人3・7・11 ▼あき  
た雑学ノート ▼秋田県の百年  
▼黒パン俘虜記 ▼シルクロー  
ド第八巻 ▼日本の原爆文学1  
～15 ▼いま感性の時代